

# 第一生命 アジアパシフィック事業

藤井隆 DLIアジアパシフィック会長

2019年11月21日

DLI Asia Pacific Pte. Ltd.



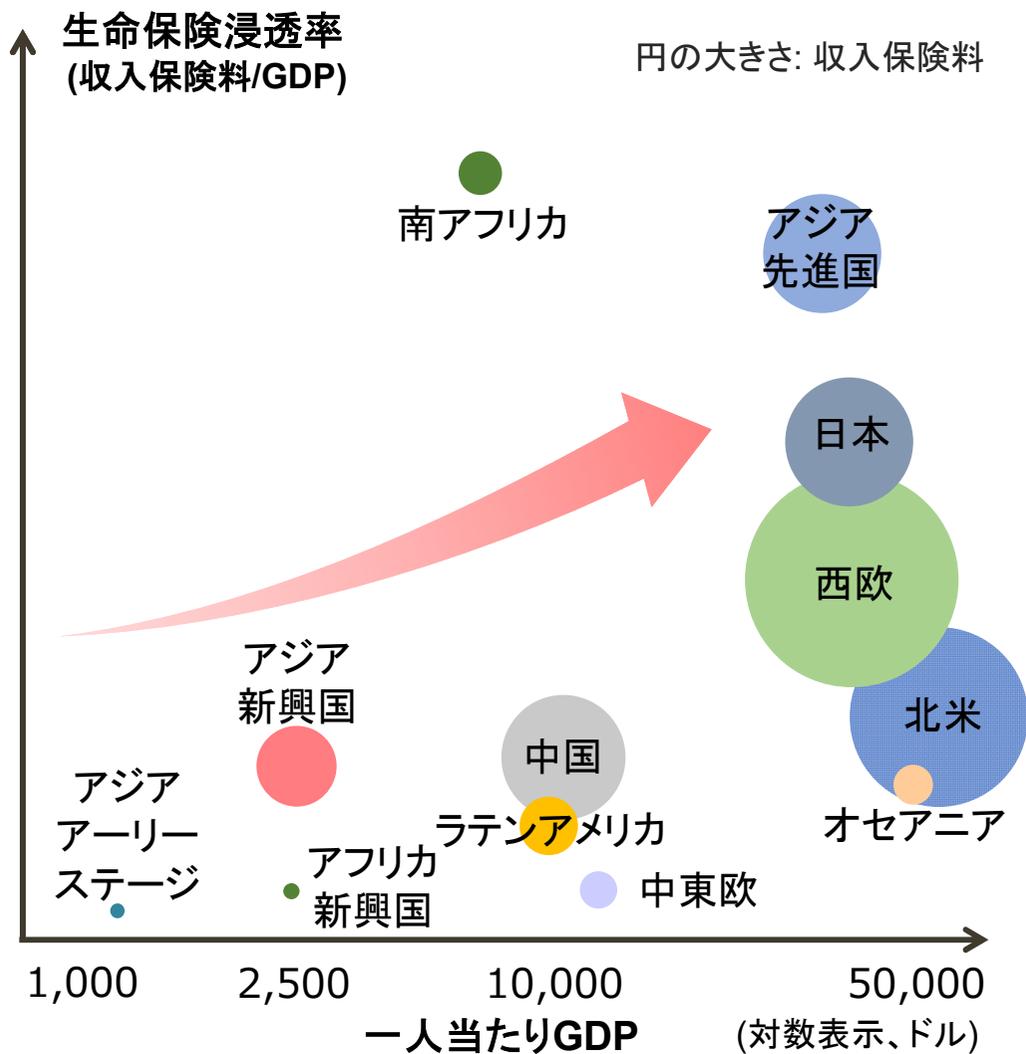
Dai-ichi Life Group

1. アジアパシフィック事業の概要
2. 第一生命ベトナム
3. 新規市場戦略:カンボジア・ミャンマー
4. アジアパシフィック地域におけるシナジー

1. アジアパシフィック事業の概要
2. 第一生命ベトナム
3. 新規市場戦略：カンボジア・ミャンマー
4. アジアパシフィック地域におけるシナジー

# アジアパシフィック市場の成長ポテンシャル

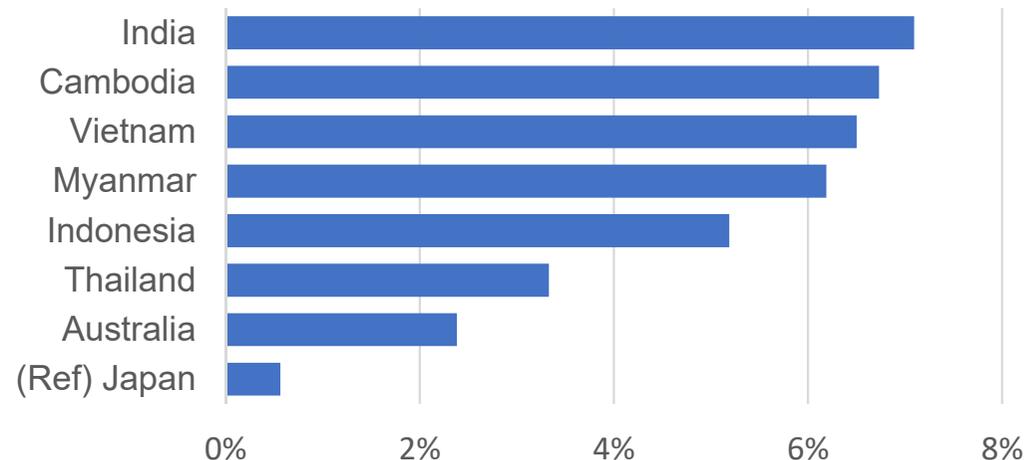
## 世界市場



(出所) IMF World Economic Outlook October 2019,  
Swiss Re sigma 3/2019

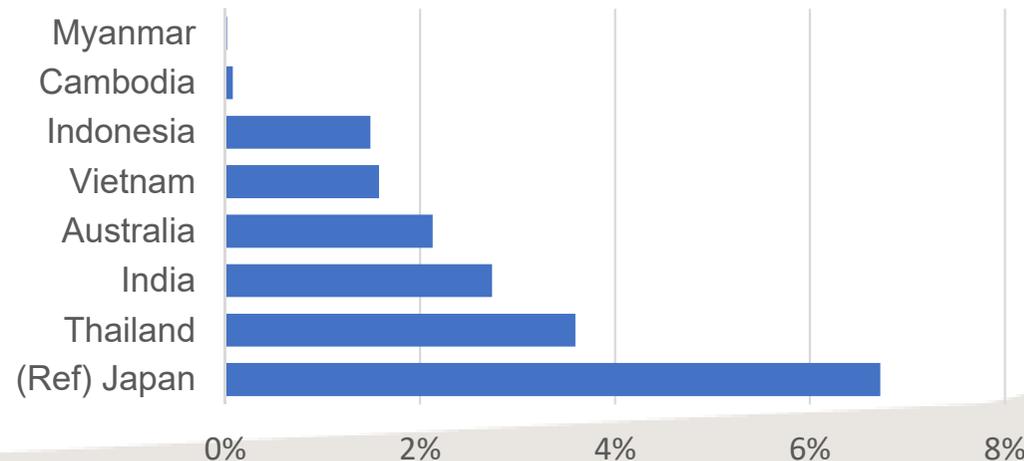
## アジアパシフィック市場

### 実質GDP成長率予測 ('18-23)



(出所) IMF World Economic Outlook October 2019

### 生命保険浸透率(1)

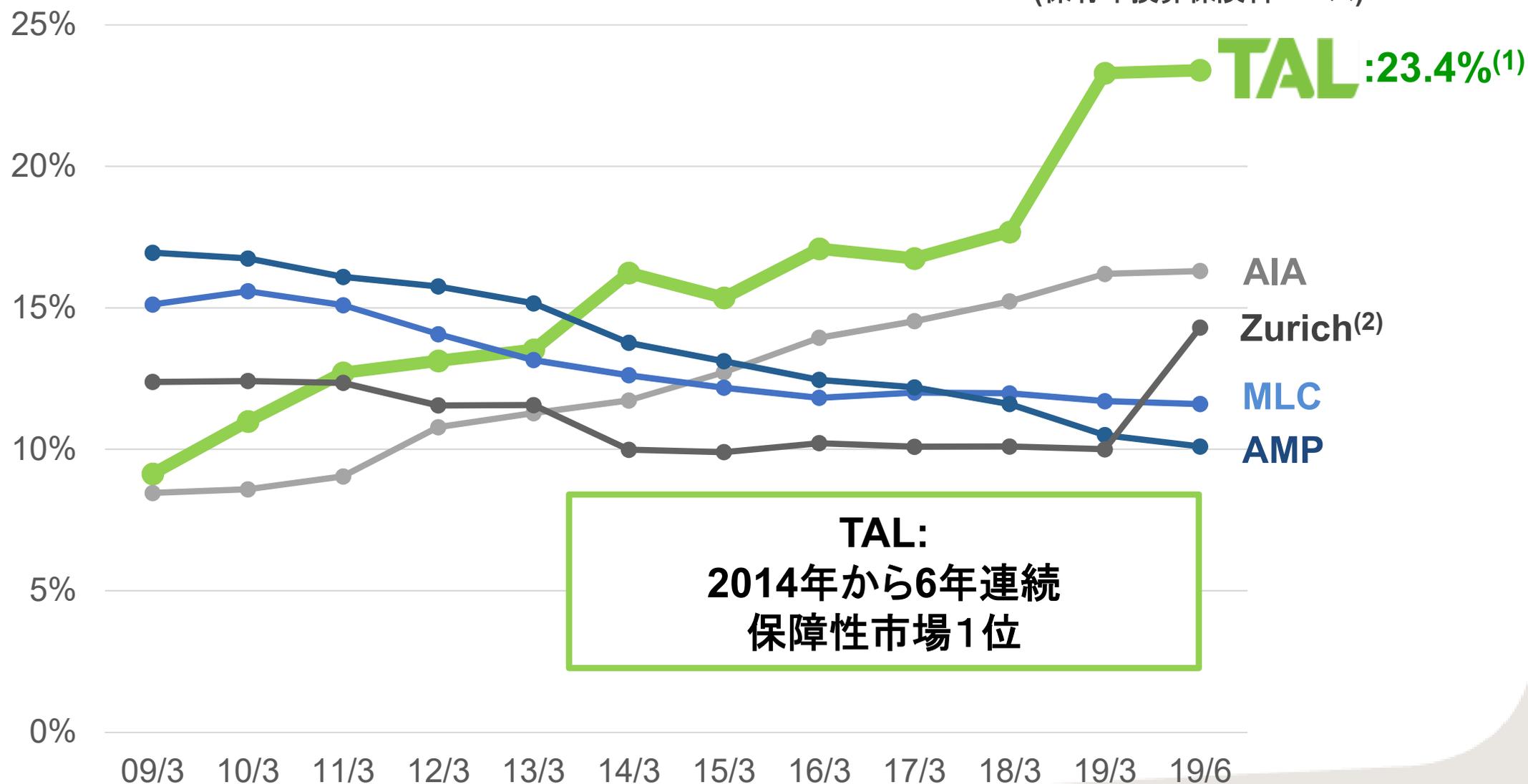


(出所) Swiss Re sigma 3/2019

	出資比率	事業戦略	利益貢献	
安定市場	 (オーストラリア)	100%	商品・チャネルの多様化	安定した利益貢献の継続
	 Gán bó dài lâu. (ベトナム)	100%	チャネル多様化による 持続的成長	利益貢献の拡大
成長市場	 (インド)	45.94%	中核チャネル強化による 市場シェアの拡大	一定規模の利益貢献
	 (インドネシア)	40%		
	 (タイ)	24%		
アーリー ステージ	 (カンボジア)	100%	事業基盤の構築	将来の利益貢献
	 (ミャンマー)	100%		

## オーストラリア保障性市場におけるトップ5社の市場シェア推移

(保有年換算保険料ベース)



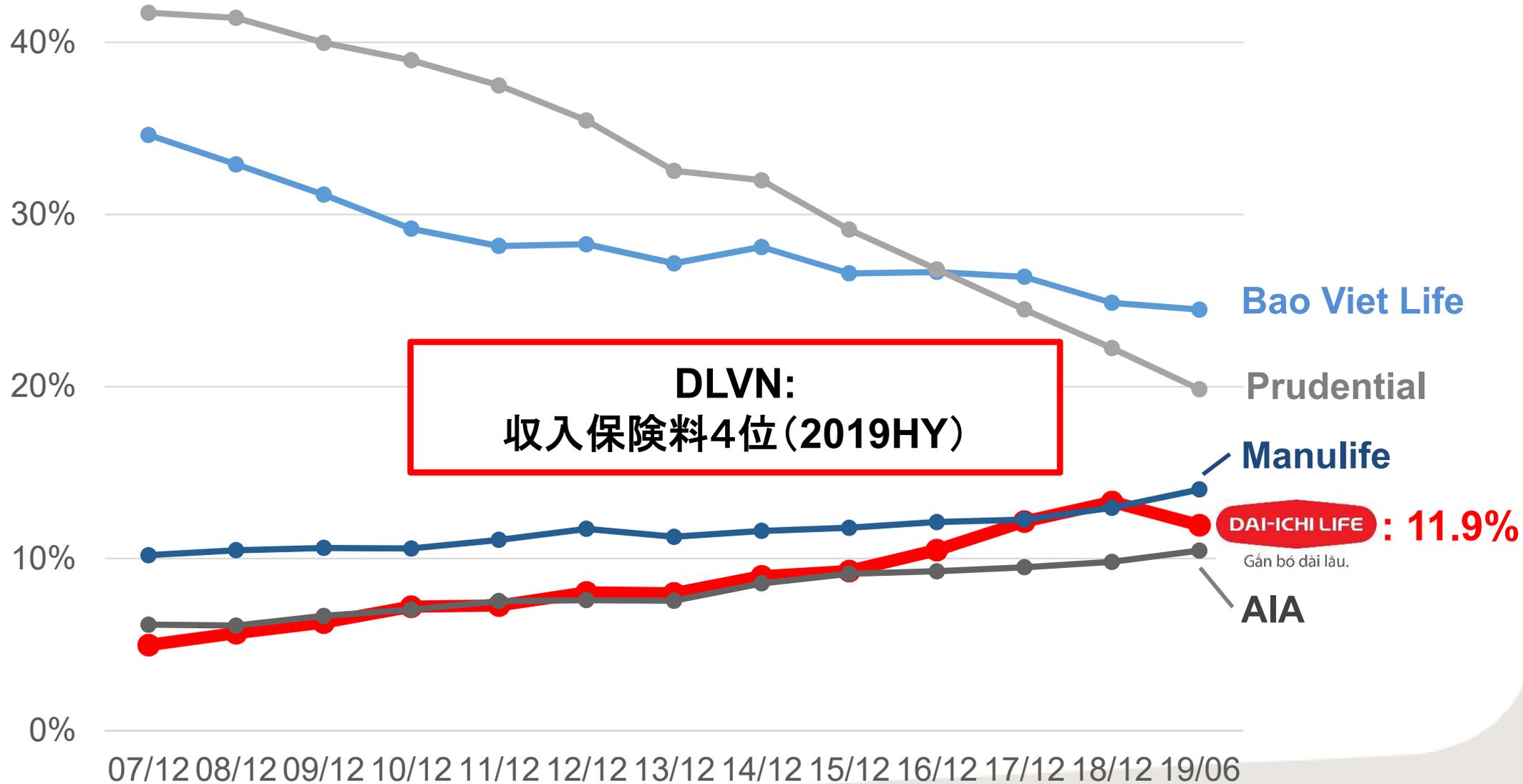
**TAL:**  
2014年から6年連続  
保障性市場1位

(1) 2019年3月からはアステロン・ライフを含むTALのシェアを表示

(2) 2019年3月まではOnePath、2019年6月はOnePathを含むZurichのシェアを表示

## ベトナム生命保険市場におけるトップ5社の市場シェア推移

(収入保険料ベース)



## 保険料の増加

## 市場シェア



(インド)



換算収入保険料<sup>(1)</sup>



(出所) 各社ウェブサイト



(インドネシア)



換算収入保険料<sup>(1)</sup>



(出所) インドネシア生命保険協会



(タイ)



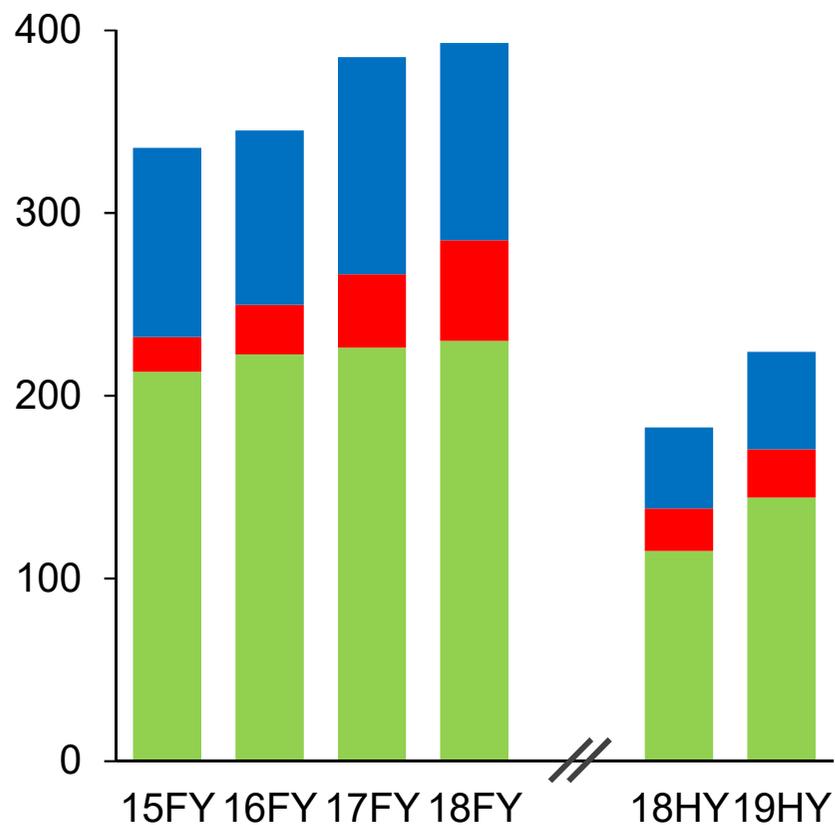
収入保険料



(出所) タイ生命保険協会

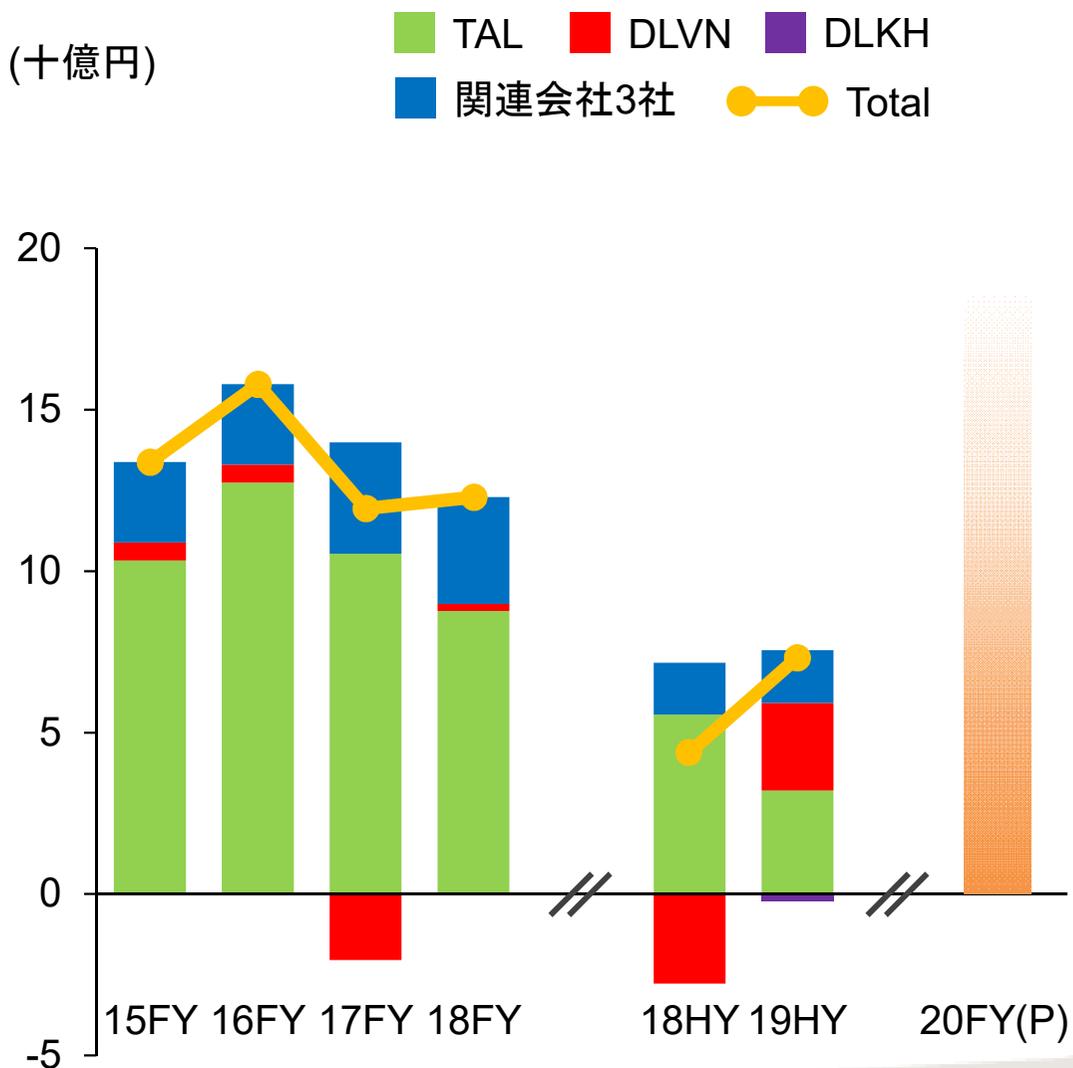
## 収入保険料

(十億円)



## 税後純利益(1)

(十億円)



(1) 関連会社3社は当社持分考慮後の税後純利益を表示

1. アジアパシフィック事業の概要
2. 第一生命ベトナム
3. 新規市場戦略：カンボジア・ミャンマー
4. アジアパシフィック地域におけるシナジー

# 2007年DLVNから海外生命保険事業を開始



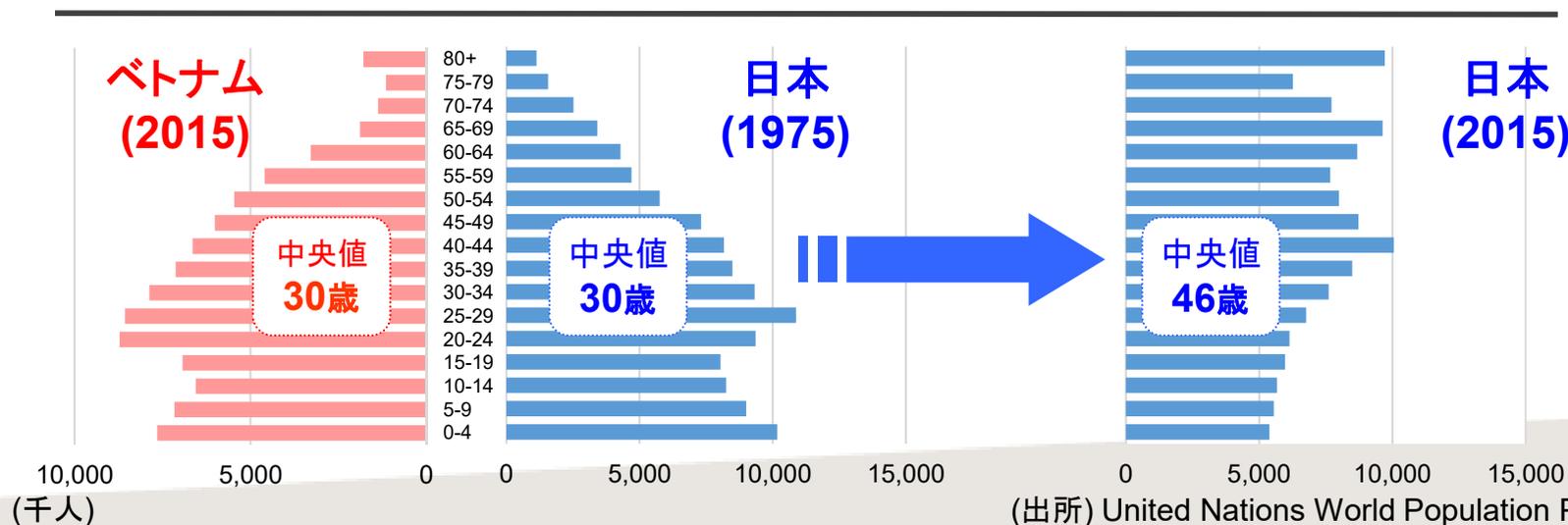
	1902	2007	2010	2015	2016
<b>Domestic Life Insurance</b>	設立 1902 By your side, for life  第一生命	2007  第一フロンティア生命 第一生命グループ	株式会社化 / 上場 2010  第一フロンティア生命	2015 「あったらいいな」をいちばんに。  ネオファースト生命 第一生命グループ	2016 ホールディングス化  ネオファースト生命
<b>Overseas Life Insurance</b>		2007  Gán bó dài lâu. ベトナム	 OCEAN LIFE INSURANCE タイ	 By your side, for life インドネシア	 នៅក្បែរអ្នកជានិច្ច カンボジア
		 インド	 オーストラリア	 100%子会社化	 アメリカ
					 ミャンマー
<b>Asset Management</b>	1999  ✓ みずほFGと合併	 ✓ みずほFG傘下3社と事業統合			 ✓ ヘンダーソンGと合併

➤ 市場規模は依然小さいものの、人口規模や保険普及率の低さを背景に継続的な成長が見込まれる

	収入保険料 (2018) (百万ドル)	人口 (2018) (百万人)	生命保険加入率 (2017) (%)	生命保険浸透率 (収入保険料/GDP, 2018) (%)
日本	334,243	126	90%+	6.7%
タイ	18,136	68	38%	3.6%
インド	73,735	1,334	N/A	2.7%
インドネシア	15,520	264	N/A	1.5%
<b>ベトナム</b>	<b>3,799</b>	<b>95</b>	<b>7.8%</b>	<b>1.6%</b>

(出所) IMF World Economic Outlook October 2019, Swiss Re sigma 3/2019, Reports of each countries of Insurance Institutions

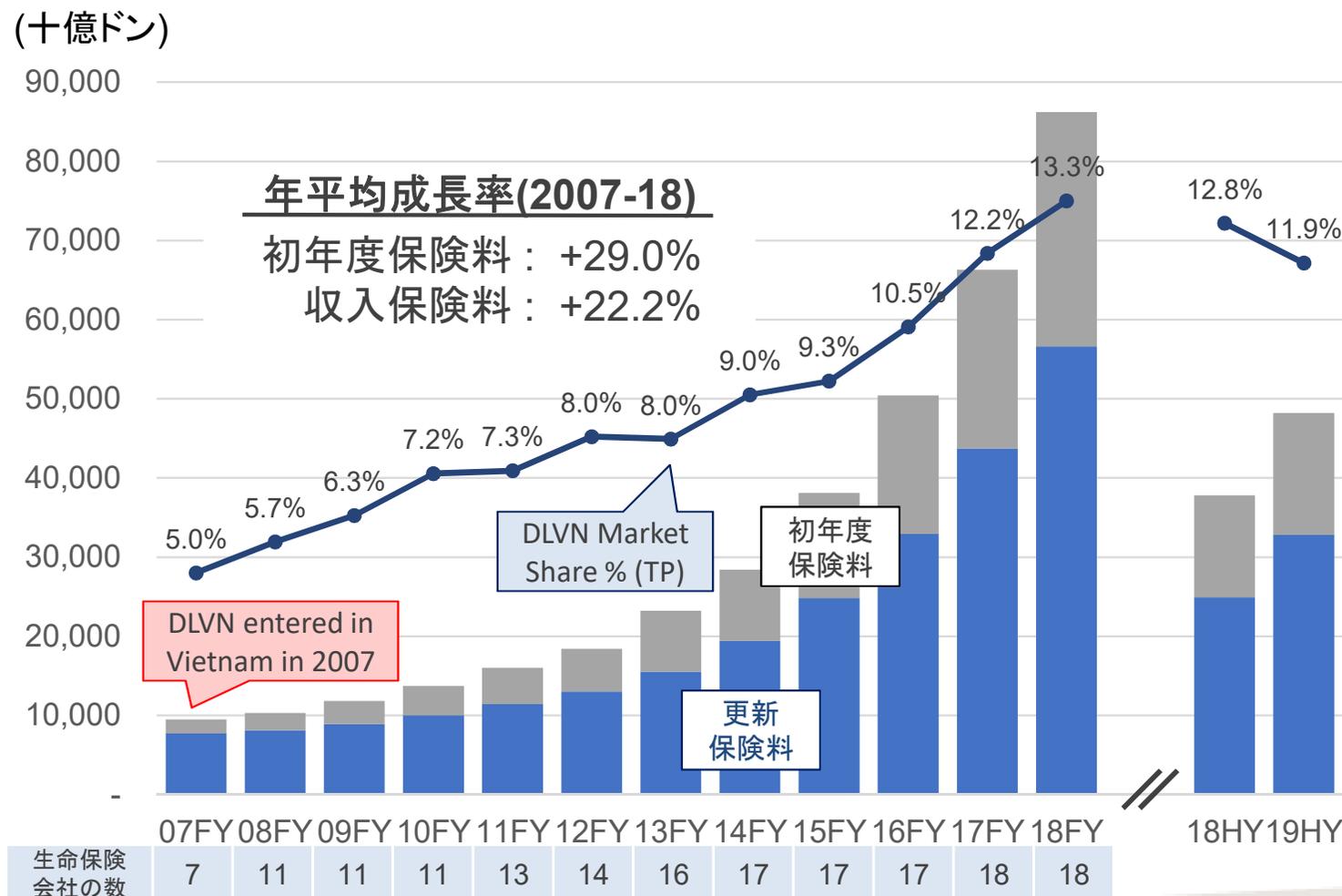
## 人口ピラミッド



# ベトナム生命保険市場とDLVN

- **1996** : 国有保険会社バオベトが生命保険事業を開始
- **1999** : 生命保険市場の外資開放
- **2018** : 18社の生命保険会社による競争の激しい市場へ

## 業界全体の収入保険料



## 市場シェア (19HY)

No.	Company	Establishment	Share
1	Bao Viet Life	1996	24.5%
2	Prudential	1999	19.8%
3	Manulife	1999	14.0%
4	Dai-ichi Life	2007 (1999)	11.9%
5	AIA	2000	10.5%
6	MB Ageas	2017	4.3%
7	Chubb Life	2005	3.2%
8	Hanwha Life	2008	2.6%
9	Generali	2011	2.5%
10	AVIVA	2012	1.6%
11-18	その他	-	5.1%

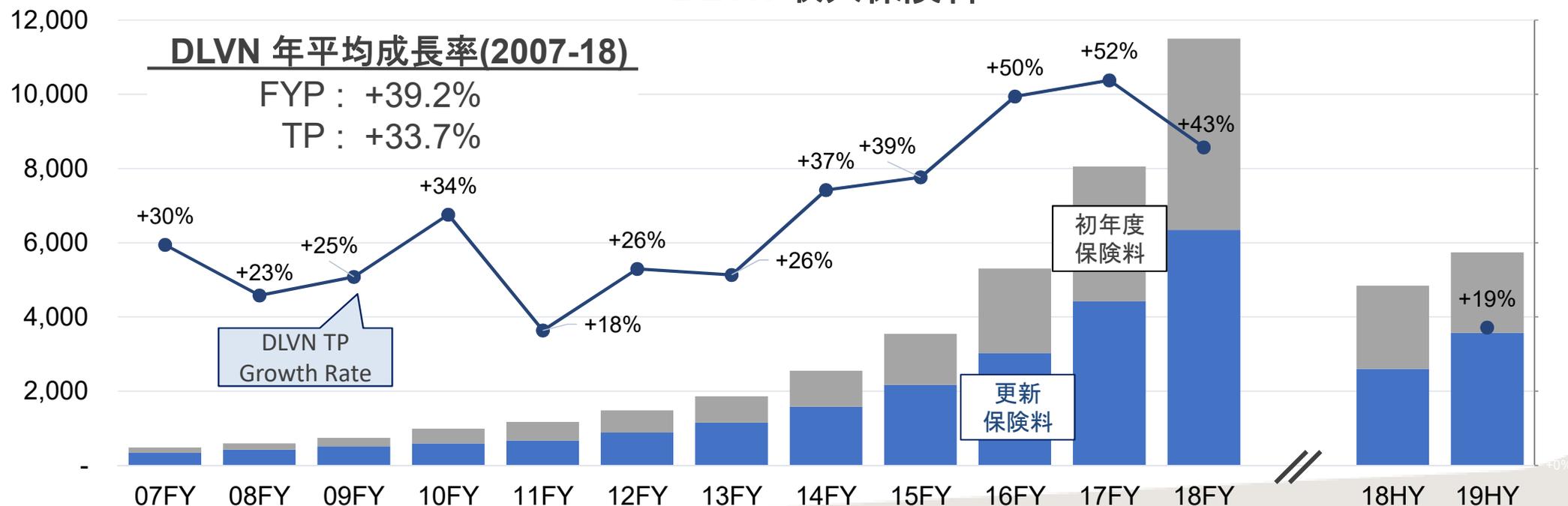
(出所) ベトナム生命保険協会

# DLVN 成長フェーズ

	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021
	Phase 1 成長に向けた基盤整備			Phase 2 営業強化によるシェア拡大と財務基盤の強化			Phase 3 収入保険料の持続的成長実現と収益性の向上			Phase 4 持続的なEV成長に向けた市場ポジションの向上			Phase 5 持続的な収入保険料成長に向けた販売強化と品質向上		
Products	学資保険 養老保険			商品多様化 (ユニバーサル、変額養老保険)			主力商品(ユニバーサル、変額養老保険)と年金/ユニットリンク商品								
Channel	エージェンシー		販売ネットワークの拡大					エージェンシーとオルタナティブチャネル							
販売ネットワーク	46	51	49	55	64	90	100	120	155	186	245	260	265 <sup>(1)</sup>		
エーเจント数	5,950	6,901	11,089	13,998	15,387	17,340	18,767	25,188	40,740	55,682	68,284	80,026	86,728 <sup>(1)</sup>		

(十億ドン)

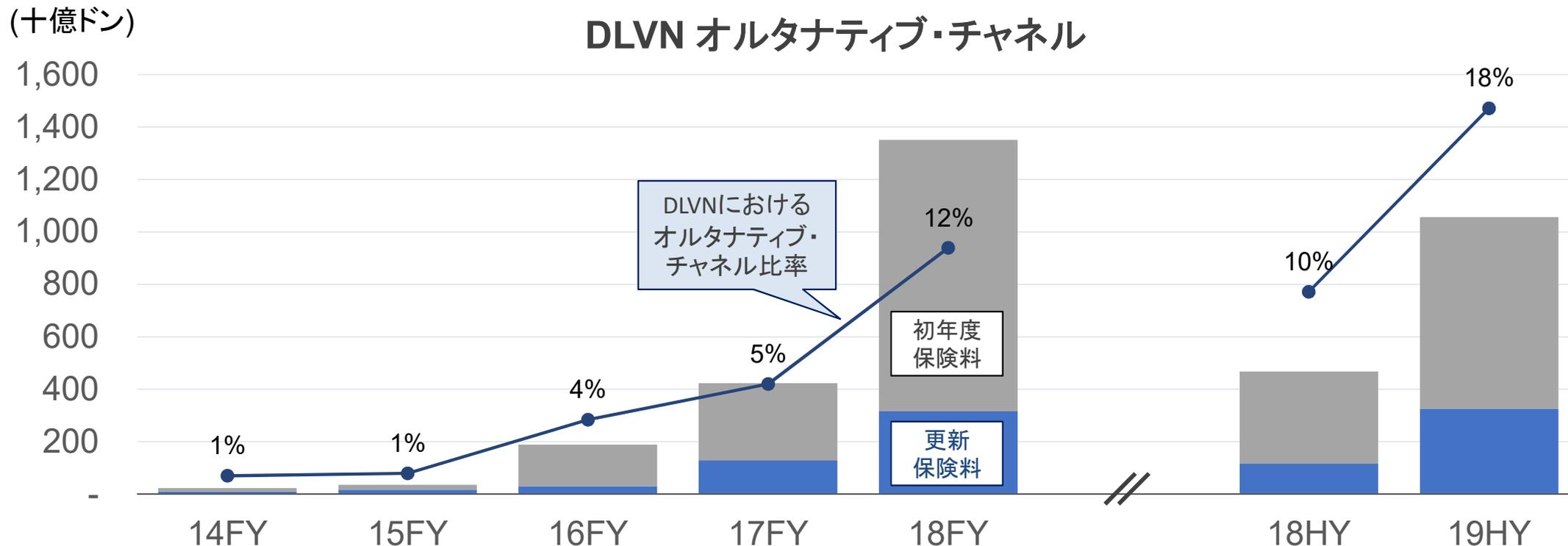
## DLVN 収入保険料



(1)As of end of June 2019.

# 持続的成長に向けたオルタナティブ・チャネルの拡大

- 銀行・ベトナム郵便等の提携を通じて、オルタナティブ・チャネル拡大を継続
- 販売拡大に向けて、提携先とのより強固な関係を構築

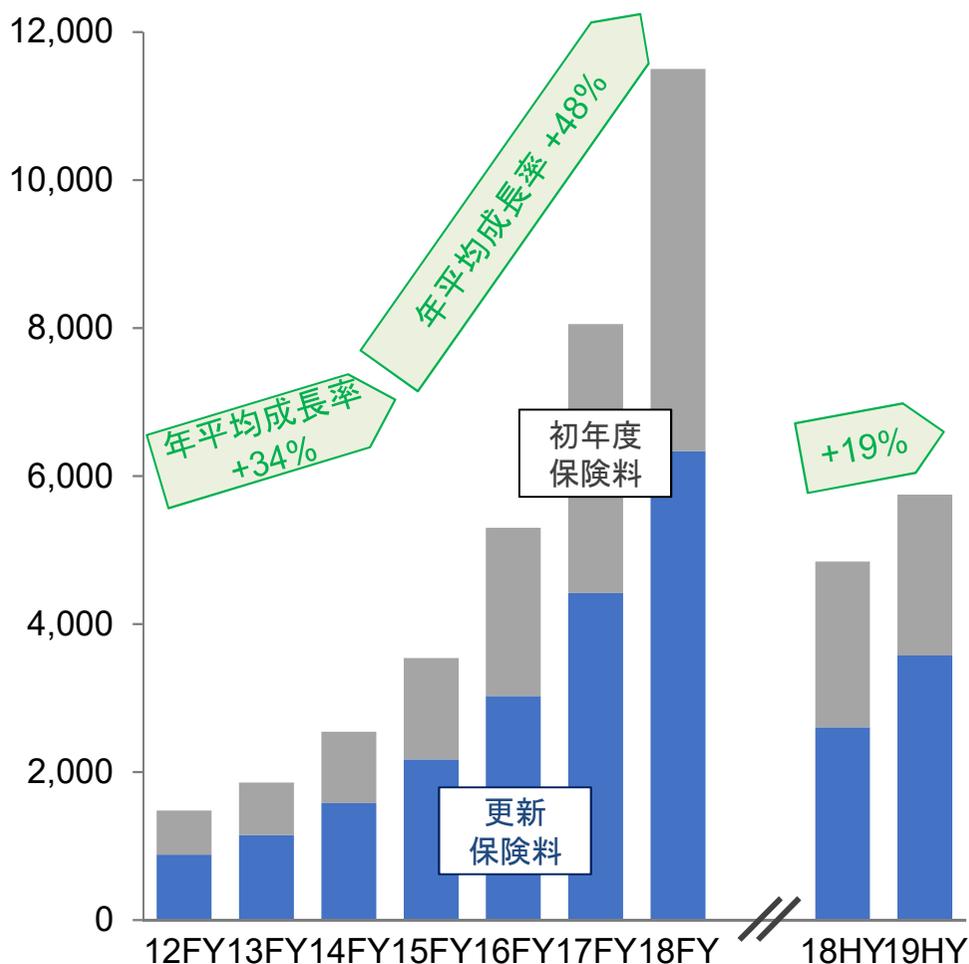


Exclusive Partners	(2015年8月)	(2016年3月)	(2017年2月)	(2018年1月)		
			(2017年9月)			
Other Partners	(2014年1月)	(2014年10月)	(2015年11月)	(2017年2月)	(2017年9月)	その他 法人エージェント、 ブローカー等

# 事業拡大に支えられた利益貢献の拡大

## 収入保険料

(十億ドン)

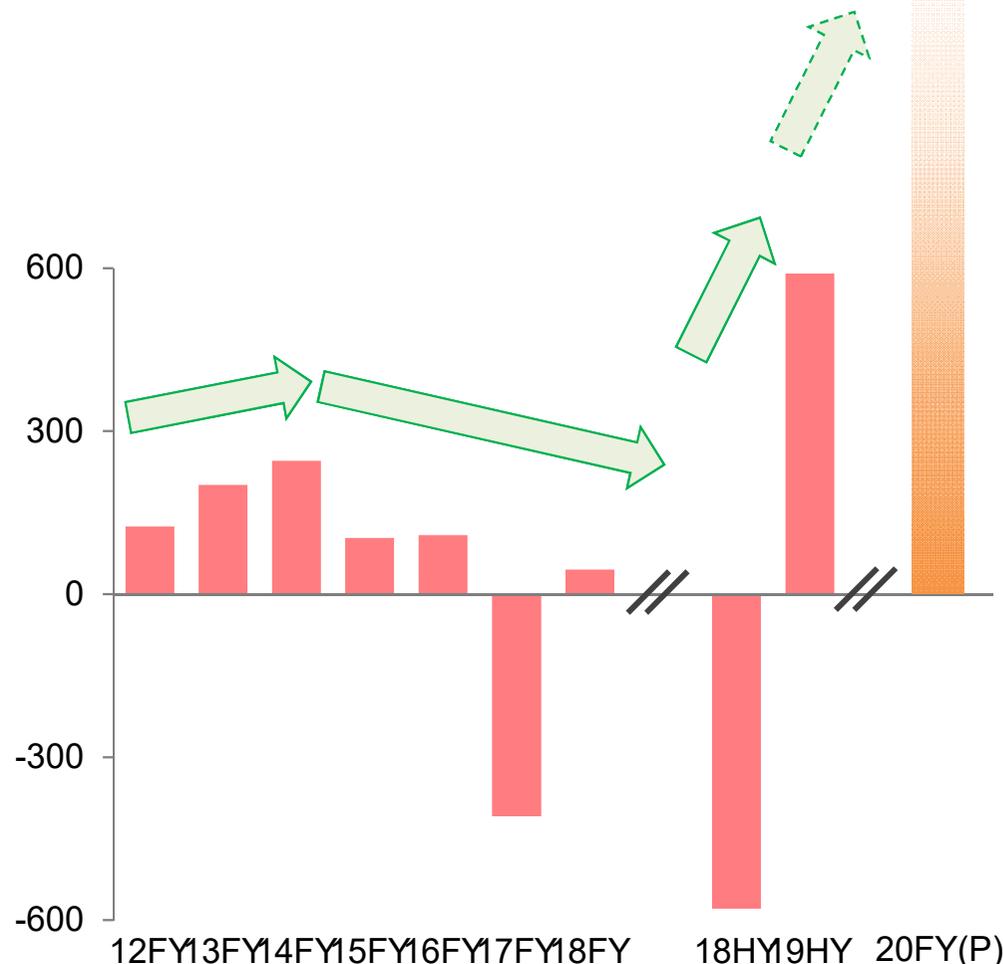


高成長による事業拡大

持続可能な成長

## 税後純利益

(十億ドン)

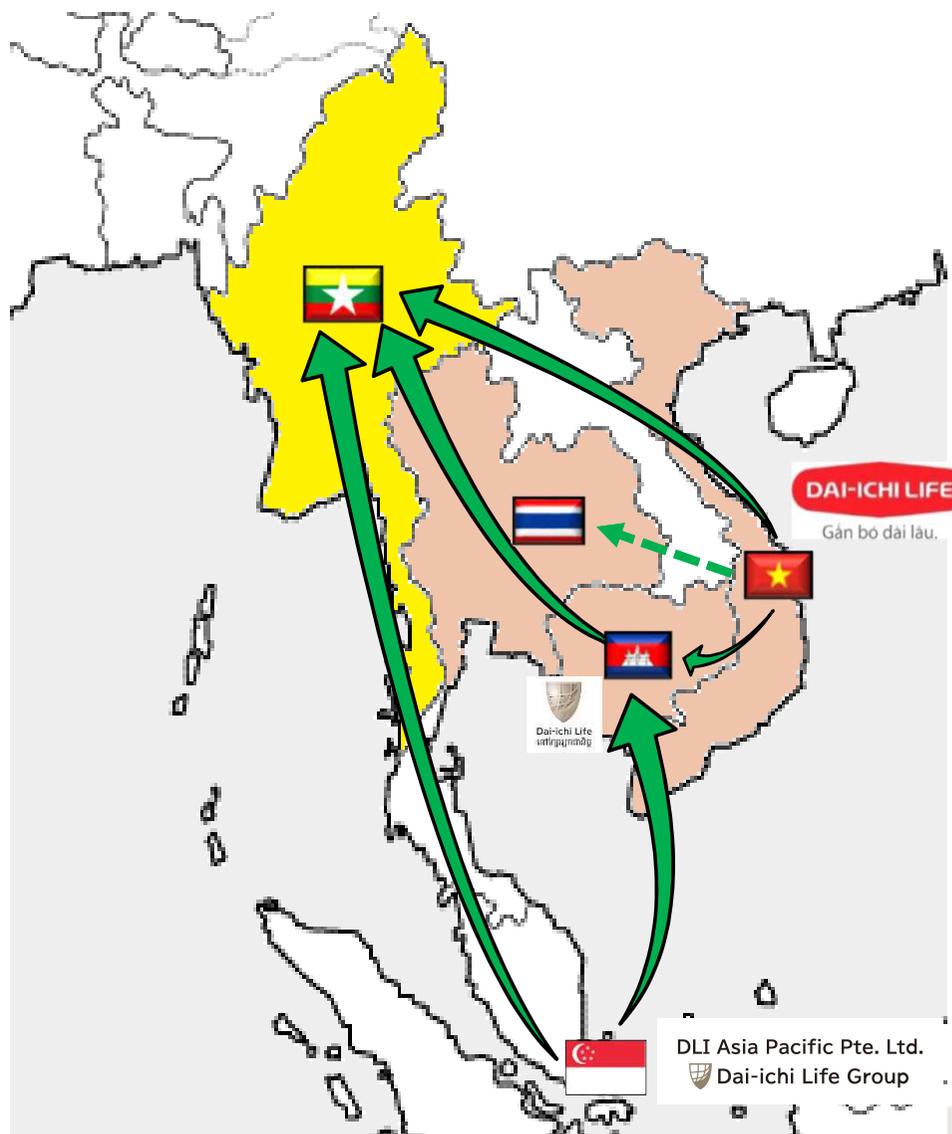


事業拡大のための資本費消

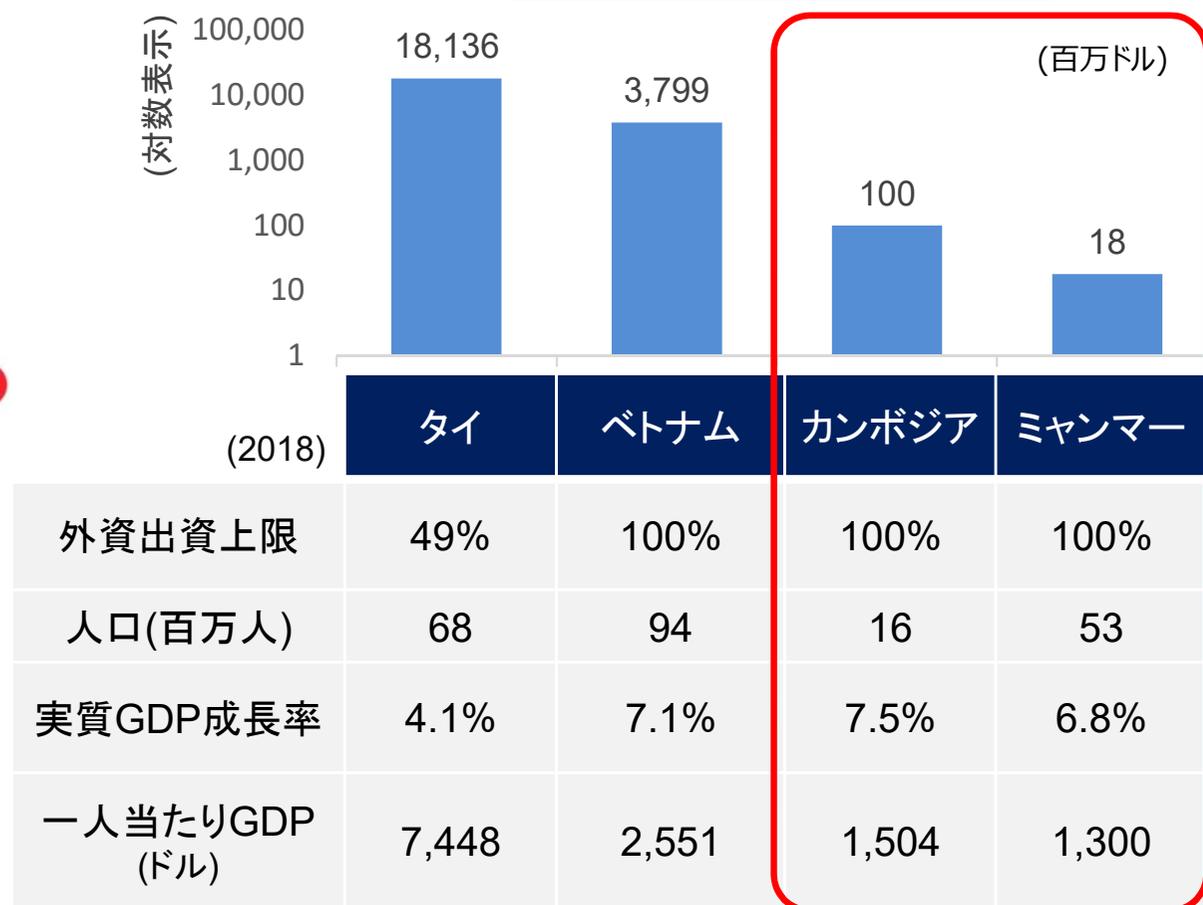
利益の増加

1. アジアパシフィック事業の概要
2. 第一生命ベトナム
3. 新規市場戦略:カンボジア・ミャンマー
4. アジアパシフィック地域におけるシナジー

- 第一生命ベトナムの専門技術やカンボジア事業立ち上げ等のノウハウをミャンマー事業に活用



## メコン地域4か国の生命保険市場規模 (2018)



(Source) Swiss Re sigma 3/2019, カンボジア生命保険協会, IMF World Economic Outlook October 2019

## 第一生命カンボジア (DLKH)



100%子会社形態による  
グリーンフィールド事業立ち上げ

- **2018年7月** – 生命保険事業認可の取得
- **2019年4月** – 営業開始、  
Vattanac銀行との提携発表
- **現在** – エージェントチャネルの基盤強化、  
窓販チャネルの開始予定

## 第一生命ミャンマー (DLMM)

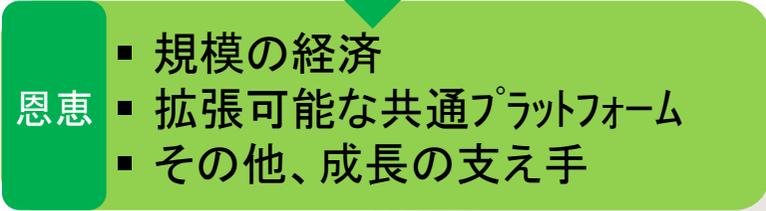
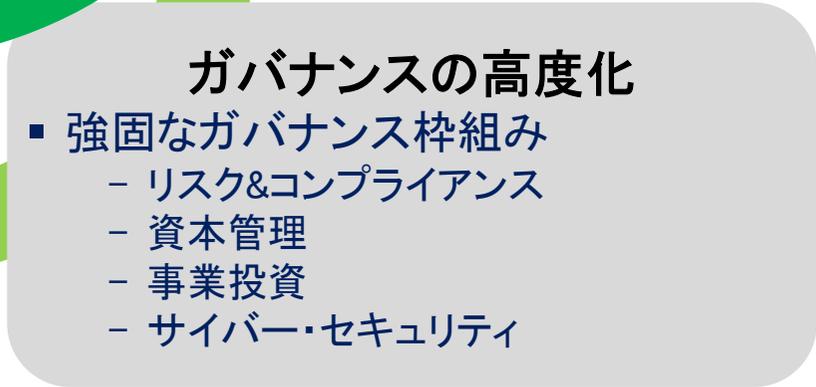
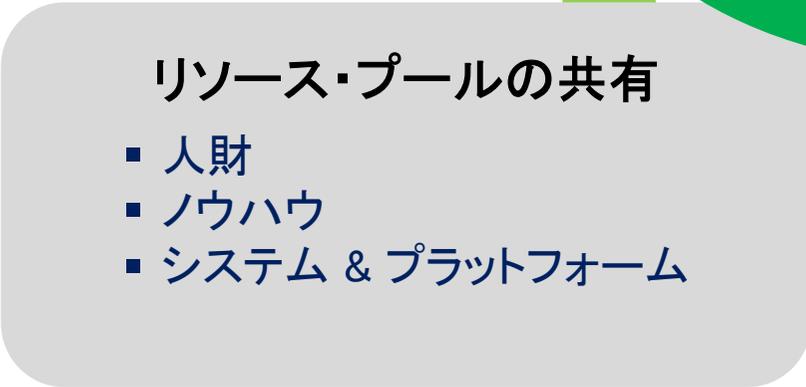
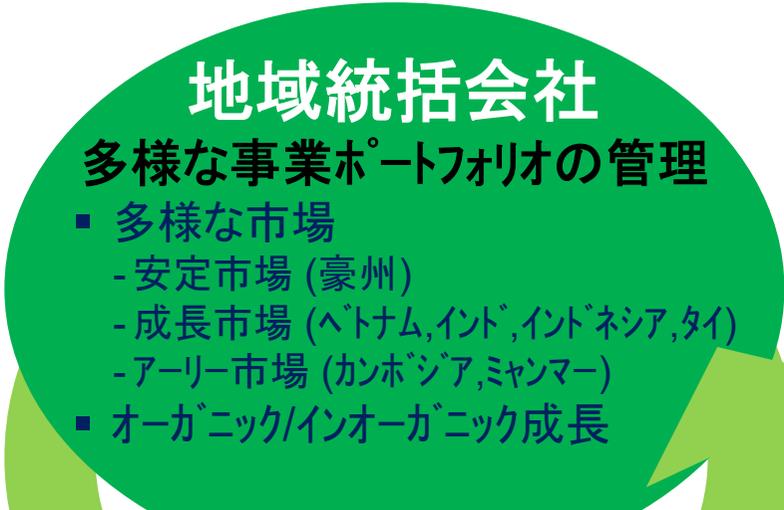


早期市場参入による先行者利益の享受

- **2019年2月** – 100%子会社形態の生命保  
険事業仮認可の申請
- **2019年4月** – 第一生命を含む外資5社が  
100%子会社形態の仮認可を取得
- **2019年第4四半期** – 本認可取得予定
- **2020年** – 営業開始予定



1. アジアパシフィック事業の概要
2. 第一生命ベトナム
3. 新規市場戦略：カンボジア・ミャンマー
4. **アジアパシフィック地域におけるシナジー**



➤ 地域統括会社は、域内グループ会社のシナジー強化を推進するための様々な機会を創出

域内のベストプラクティス・ノウハウ活用のため、各機能別にリージョナル・マネジメント・カンファレンスを開催

- エージェンシー・チャンネル
- 銀行窓販・チャンネル
- 商品
- マーケティング
- 財務 (IFRS)



Banca Regional Management Conference



Marketing Regional Management Conference

人財交流プログラムを通じて、グループ会社間における専門知識共有の機会を創出

- グループ会社間の出向 (例: TALからDLIAP)
- メコン地域における人財不足分野の機能支援 (e.g. DLKHやDLMMに対する保険数理支援)

## 第一生命ベトナム (DLVN)

DAI-ICHI LIFE

Gán bó dài lâu.

### IT / オペレーション

- DLVNからのOJT、ITシステム構築支援

### ディストリビューション

- DLVNの販売・採用セミナーシステムの活用
- DLVNの窓販営業モデルの共有

### 人事

- 支援人財の派遣

### IT / オペレーション

- DLVNからのITシステム構築にかかるアドバイス
- DLVNによるワークフローのピア・レビュー

### 人事

- 支援人財の派遣

DLI Asia Pacific Pte. Ltd.

Dai-ichi Life Group

DLIAPは、グリーンフィールド市場の事業立ち上げに向け、グループの知見の活用を推進

## 第一生命 カンボジア (DLKH)



## 第一生命 ミャンマー (DLMM)



- グリーンフィールド事業立ち上げ経験の共有
- 機能毎のノウハウ・ベストプラクティスの移転

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社  
経営企画ユニット IRグループ  
電話：050－3780－6930

## 免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。